

部分日食を見てみませんか？

2009年7月22日水曜日、日本国内で46年ぶりに皆既日食が観測されます。また、日本列島各地で部分日食も観測でき、ここ福井でも約75%欠けた太陽を見ることができます。そこで、学際実験の一環として、自作の望遠鏡を使って日食と観測することを計画しています。またとないチャンス、一緒に観測してみませんか？



2001年、アフリカで観測された皆既日食 ©国立天文台

日食当日: 2009年7月22日(水)
観測場所: 福井大学ペンギン池跡地

(教育地域科学部1号館前の芝生)

食

の始まり: 9:49ごろ
最も欠ける時刻: 11:06ごろ
食の終わり: 12:24ごろ

日食とは…

太陽、月、地球が一直線上に並び、地球から見た時に太陽が月に隠れて見えない状態となることです。日本での皆既日食は46年ぶりに鹿児島・沖縄で観測され、貴重な天文現象であるといえます。

日食になった太陽を、自作の望遠鏡を用いて投影板に映し出し、観測しようと考えています。雨天の場合は中止です。日食当日までに、説明会・観測の予行練習を行いたいと思っています。少しでも興味がある方は7月初旬までに、できるだけ早く連絡ください。

連絡先: 先端科学技術育成センター
0776-27-9838
welcome@circle.u-fukui.ac.jp